

モリト株式会社

## 2023年11月期 第2四半期決算概要

---

東証プライム 証券コード 9837

2023年7月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

## CONTENTS

---

- 1 会社概要
- 2 中長期方針
- 3 第8次中期経営計画
- 4 2023年11月期2Q 業績
- 5 2023年11月期2Q 事業の概況
- 6 事業トピックス
- 7 株主還元策

# 1

## 会社概要

---

# モリトグループの価値観

---

## 創業理念

**積極・堅実**

## 経営理念

**パーツでつなく、あなたとつながる、未来につなげる**

## 経営ビジョン

**存在価値を創造する、  
あたらしい「モリトグループ」の実現**

# 会社概要

## ● 1908年創業

- ・大阪にてハトメ・ホックの仲買商として開業
- ・その後、マジックテープ®など服飾の付属品、自動車内装部品等の販売を中心に拡大

## ● 製造機能も併せ持つメーカー的機能を持つ商社

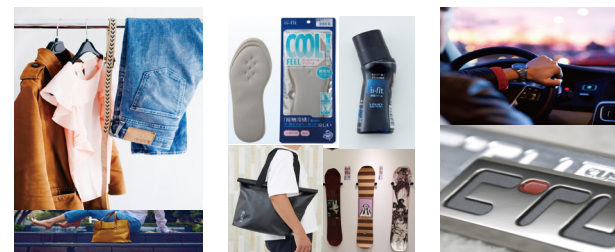
- ・企画・開発から製造に加え、卸・流通までを一貫して手掛ける専門商社
- ・世界に19拠点展開

## ● 3つの事業を展開

- ・アパレル関連、プロダクト関連、輸送関連が事業の柱
- ・自社生産30%、調達70%ほどの構成



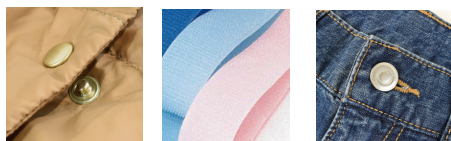
※ハトメ：靴・衣類などに紐を通す穴に取り付ける環状の金具



# 事業別詳細

## アパレル関連事業

<取扱い商品例>



ホック マジックテープ® ボタン



テープ ハトメ・靴紐 自社ブランド

<活用例>

カジュアルウェア・シューズ  
スポーツウェア・シューズ  
作業服・シューズ  
メディカルウェア、ベビーウェア  
フォーマルウェア・シューズ、バッグ

## プロダクト関連事業

<取扱い商品例>



マジックテープ® 樹脂パーツ インソール



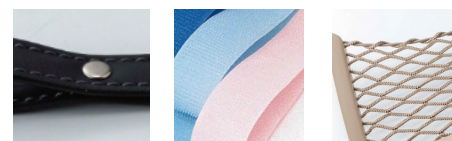
ストラップ スケートボード・スノーボード・サーフィン 自社ブランド

<活用例>

インソール・シューズ商品  
カメラ・PCケース等映像機器関連商品、  
サポーター、安全関連商品、教具・文具  
スケートボード・サーフィン等  
アクティブスポーツ関連商品

## 輸送関連事業

<取扱い商品例>



ホック マジックテープ® ネット



エンブレム トランクフロアボード ドアアームレスト

<活用例>

自動車内装部品  
鉄道・新幹線内装部品  
航空機内装部品

(2022年11月期)

# モリトの強み

## ● 流行に左右されない、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。

## ● ポートフォリオが分散して安定した業績

アパレル・プロダクト・輸送関連の3つの事業を柱に、ワールドワイドに事業を展開。オイルショックやリーマンショック、新型コロナウイルス感染拡大の影響などがあっても、赤字にならない安定した業績を維持。

## ● ニッチ分野をターゲットに、多彩なアイテムで高シェアをマーク

各業界分野でシェア率の高い商品多数。  
金属ホックは日本で1位、世界でも1位、2位を争う。

## ● 製造・調達・販売をグローバルに展開

自社拠点以外にも、協力工場や代理店が世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。

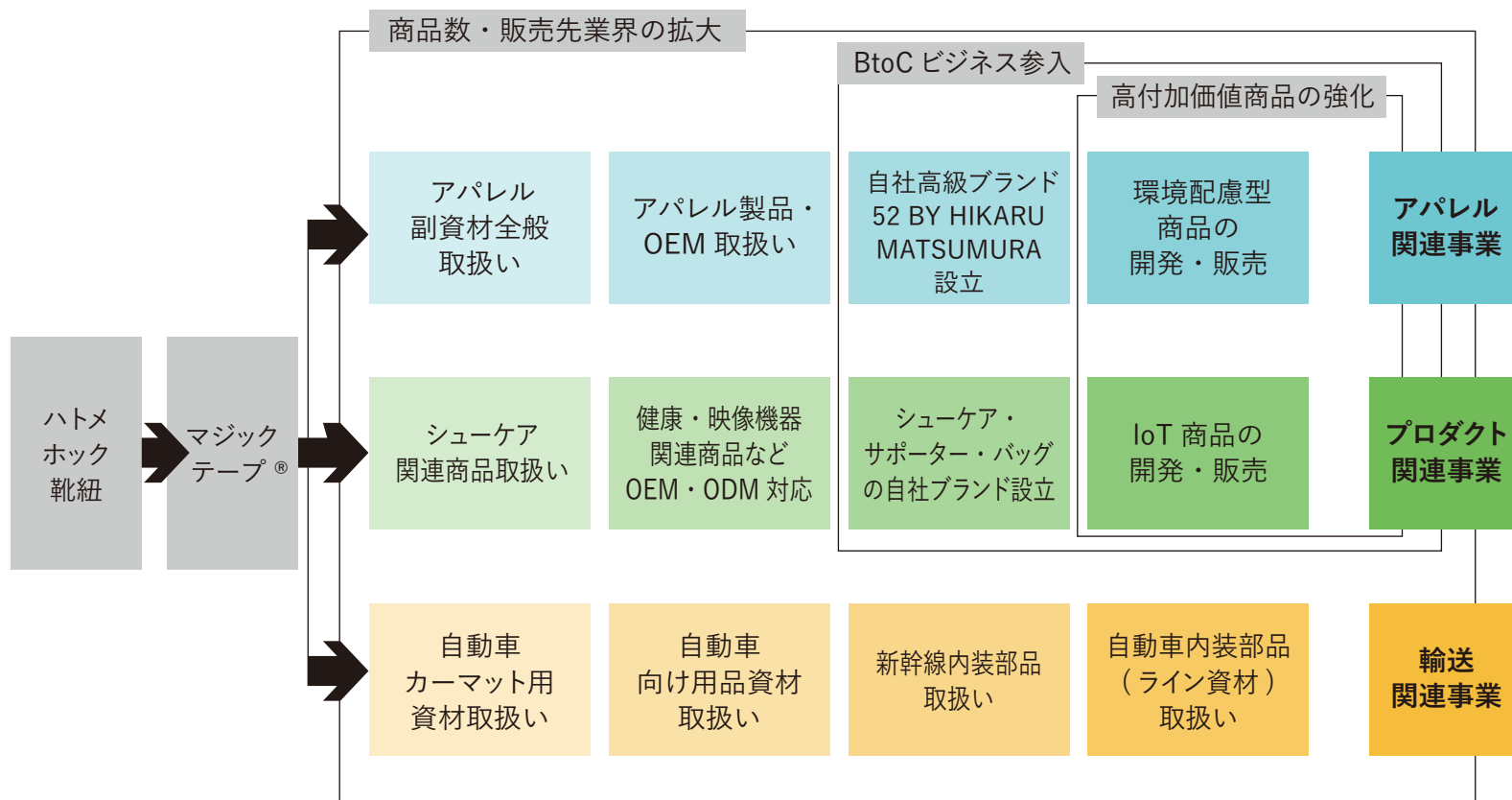
# 2

## 中長期方針

---



# グローバルニッチトップを目指した過去の取り組み



# グローバルニッチトップを目指した過去取り組み

## グローバル ネットワーク 構築

### 販売・調達

香港、アメリカ、オランダ、中国(上海)、タイ、ミャンマー、メキシコ

### 製 造

中国(深セン)、アメリカ(ジョージア州)、ベトナム(ダナン)

### M&A

スコーヴィル(アメリカ)、マテックス(日本)、マニューバーライン (日本)

## 収益力強化

- ・グローバル品質保証体制の構築
- ・自社物流拠点の設立
- ・持株会社体制への移行
- ・事業会社モリトジャパンの分割

## 管理体制の強化

- ・ダイバーシティ・働き方改革
- ・キャリア採用等人事戦略

# 中長期方針 モリトが目指す姿

小さなパーツで世界を変え続ける、グローバルニッチトップ企業

第 8 次  
中期経営計画

事業戦略

- BtoC 市場への参入・強化
- 各市場のグローバルシェア No.1 へ
- 経営・製造・調達の現地化、新規拠点設立
- 製造会社への設備投資、生産効率化
- M&A の実施
- 高付加価値商品（安心・安全・健康・環境配慮の取り組み）

コーポレート戦略

- IT 技術を活用した製造・業務・営業活動支援
- 運用・調達マネジメント強化による健全な財務体質の構築  
および資本効率の改善
- SDGs を意識した企業経営

2020 年～  
2021 年

コロナ禍における  
事業体制構築

- 経費の見直し
- 収益性の強化
- 不採算事業の見直し

# 3

## 第8次中期経営計画

---

## 第8次中期経営計画（～2026年11月期）

2023年1月に、第8次中期経営計画の内容を一部変更

### 主な変更ポイント

#### ① サステナビリティ方針の策定

▶ <https://www.morito.co.jp/sustainability/>

#### ② 資本政策の変更

企業活動に必要な資金を長期的な視点で安定的かつ効率的に調達運用するため、偏りのない安定的な財務資本構成を構築する

#### <施策>

- (1) 中長期的な資本効率(ROE)の向上 → 効率的経営の実践
- (2) 業績連動性に安定性も付加した株主還元 → 適切な利益分配
- (3) 資産効率の改善 → BSの圧縮とCF創出および資金の積極投資
- (4) 資本構成の適正化 → 財務レバレッジなどの活用

## 第8次中期経営計画（～2026年11月期）

2023年1月に、第8次中期経営計画の内容を一部変更

### 主な変更ポイント

#### ③ 株主還元策の変更

投資案件および財務状況を勘案の上、下記の「利益配分に関する基本方針」のもと決定  
(2023年11月期より)

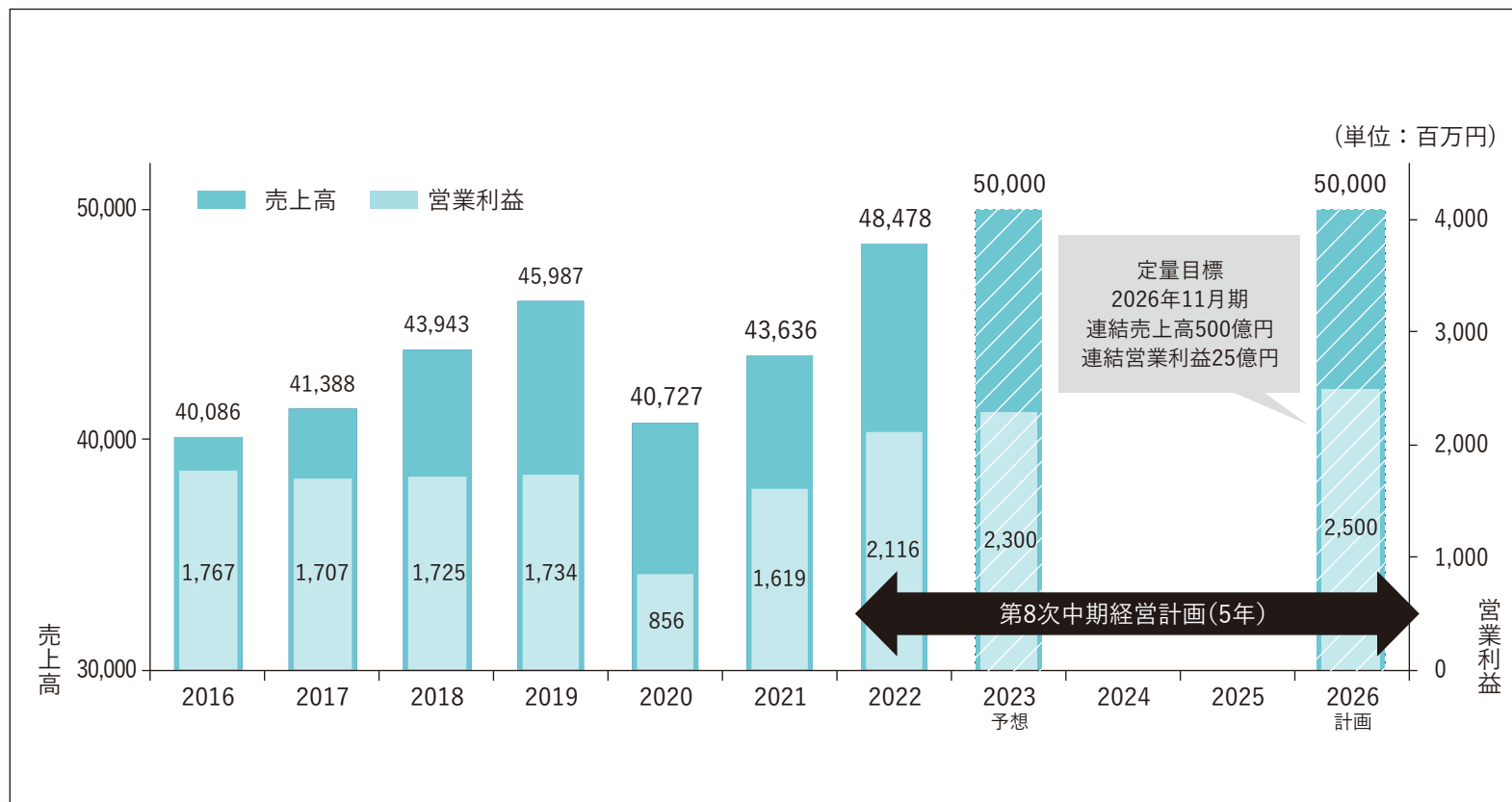
- ・安定的かつ継続的配当の実現
- ・親会社株主に帰属する連結当期純利益に対する連結配当性向50%以上
- ・連結自己資本配当率(DOE) 目標4.0%

ただし、特別な損益等の特殊要因により税引き後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度につきましてはその影響を考慮し配当額を決定いたします。

## 第8次中期経営計画 定量目標（～2026年11月期）

2022年度～2026年度で、売上高500億円、営業利益25億円を定量目標として定める。

※ 売上高・営業利益共に目標数値に早期達成した場合は、見直しを実施。



4

## 2023年11月期2Q 業績

---



## 2023年11月期2Q ハイライト

---

- 欧米・中国における消費の減速による需要が停滞した一方、日本国内の全市場の需要が大幅に回復
- 機能性に優れた付属品・製品が好調
- 2Q累計の売上高・営業利益・経常利益が、半期開示開始以来過去最高

## 2023年11月期2Q 通期業績サマリー

(単位：百万円)

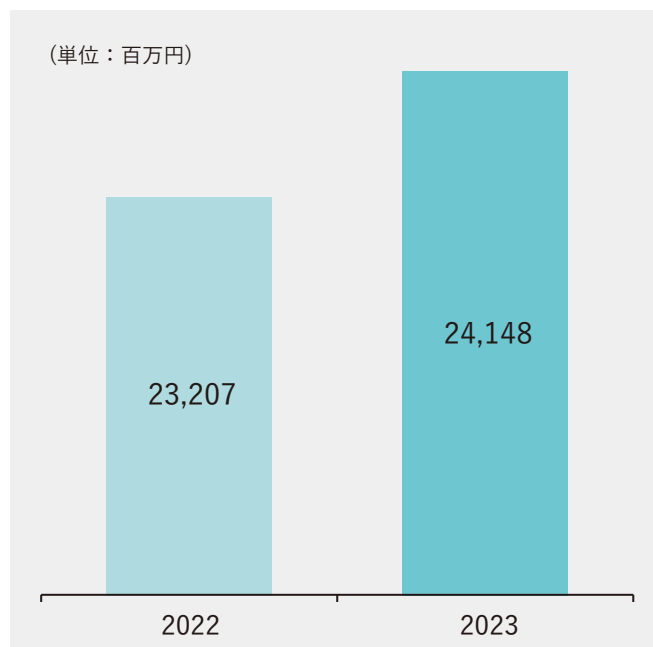
|        | 前 期    | 当 期    | 増 減  | 前 期 比  |
|--------|--------|--------|------|--------|
| 売上高    | 23,207 | 24,148 | +941 | +4.1%  |
| 売上総利益  | 6,113  | 6,541  | +428 | +7.0%  |
| 売上総利益率 | 26.3%  | 27.1%  |      |        |
| 経費     | 4,995  | 5,236  | +241 | +4.8%  |
| 経費率    | 21.5%  | 21.7%  |      |        |
| 営業利益   | 1,117  | 1,305  | +188 | +16.8% |
| 営業利益率  | 4.8%   | 5.4%   |      |        |
| 経常利益   | 1,219  | 1,459  | +240 | +19.6% |
| 経常利益率  | 5.3%   | 6.0%   |      |        |
| 当期純利益  | 879    | 1,308  | +429 | +48.7% |
| 当期純利益率 | 3.8%   | 5.4%   |      |        |

## 2023年11月期2Q 売上高

売上高:24,148百万円 前年同期比: +941百万円(+4.1%)

欧米・中国での需要の停滞は懸念されるものの、国内需要の増加、欧米の輸送関連事業の回復により、全体の売上高が増加。

(単位: 百万円)



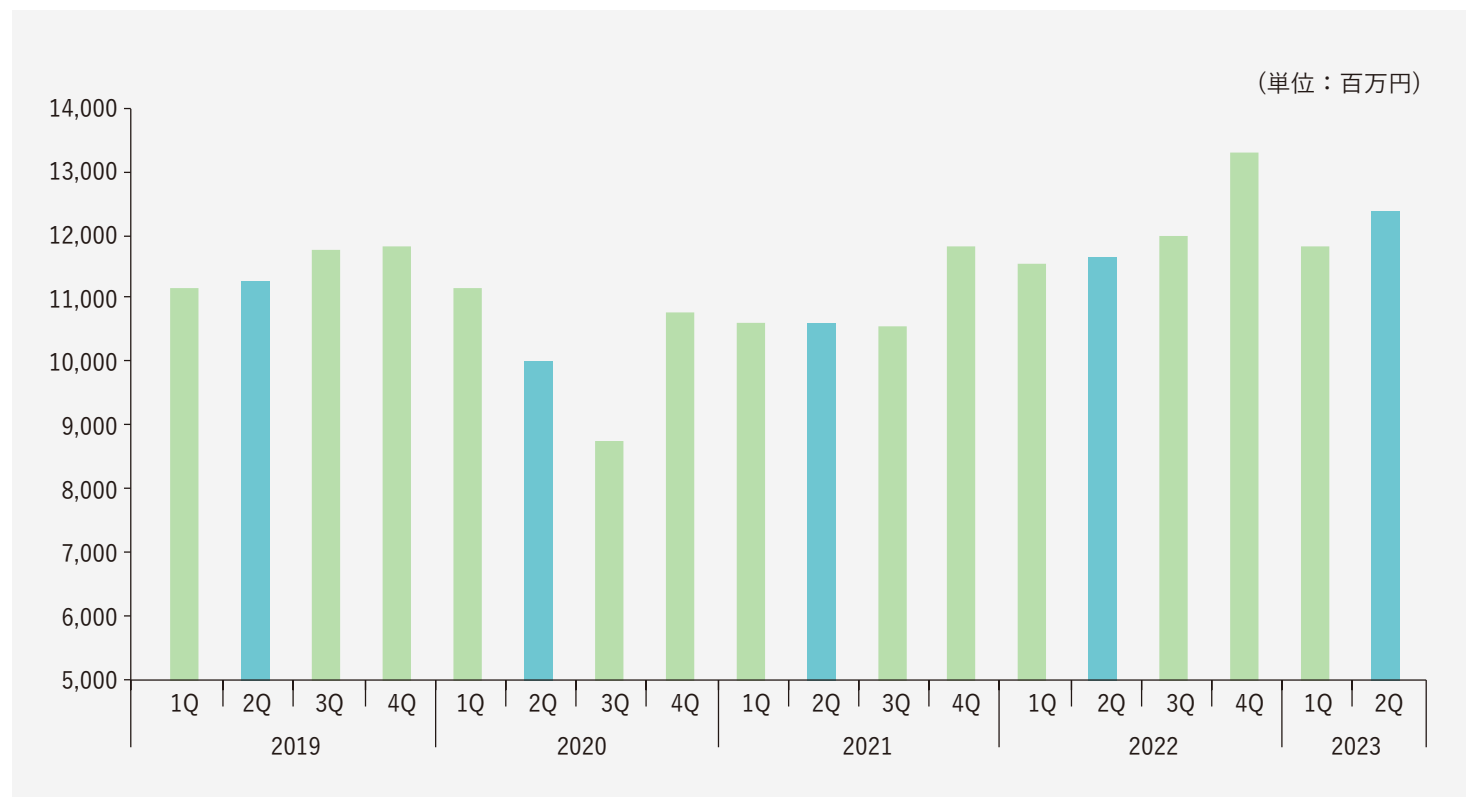
日 本 17,328 百万円  
前年同期比 +1,220 百万円 (+7.6%)

アジア 3,583 百万円  
前年同期比 -514 百万円 (-12.5%)

欧 米 3,236 百万円  
前年同期比 +236 百万円 (+7.9%)

## 2023年11月期2Q 四半期別売上高の推移

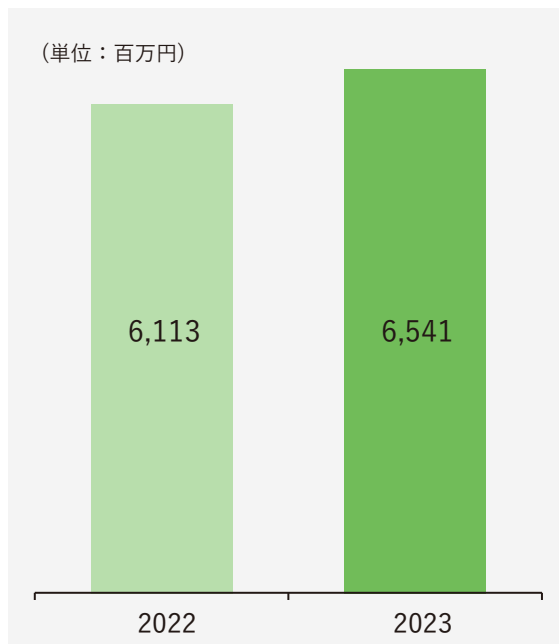
2Qのみの売上高としても過去最高を達成。



## 2023年11月期2Q 売上総利益

売上総利益:6,541百万円 前年同期比: +428百万円(+7.0%)

売上高の増加・売上総利益率の改善により増加。

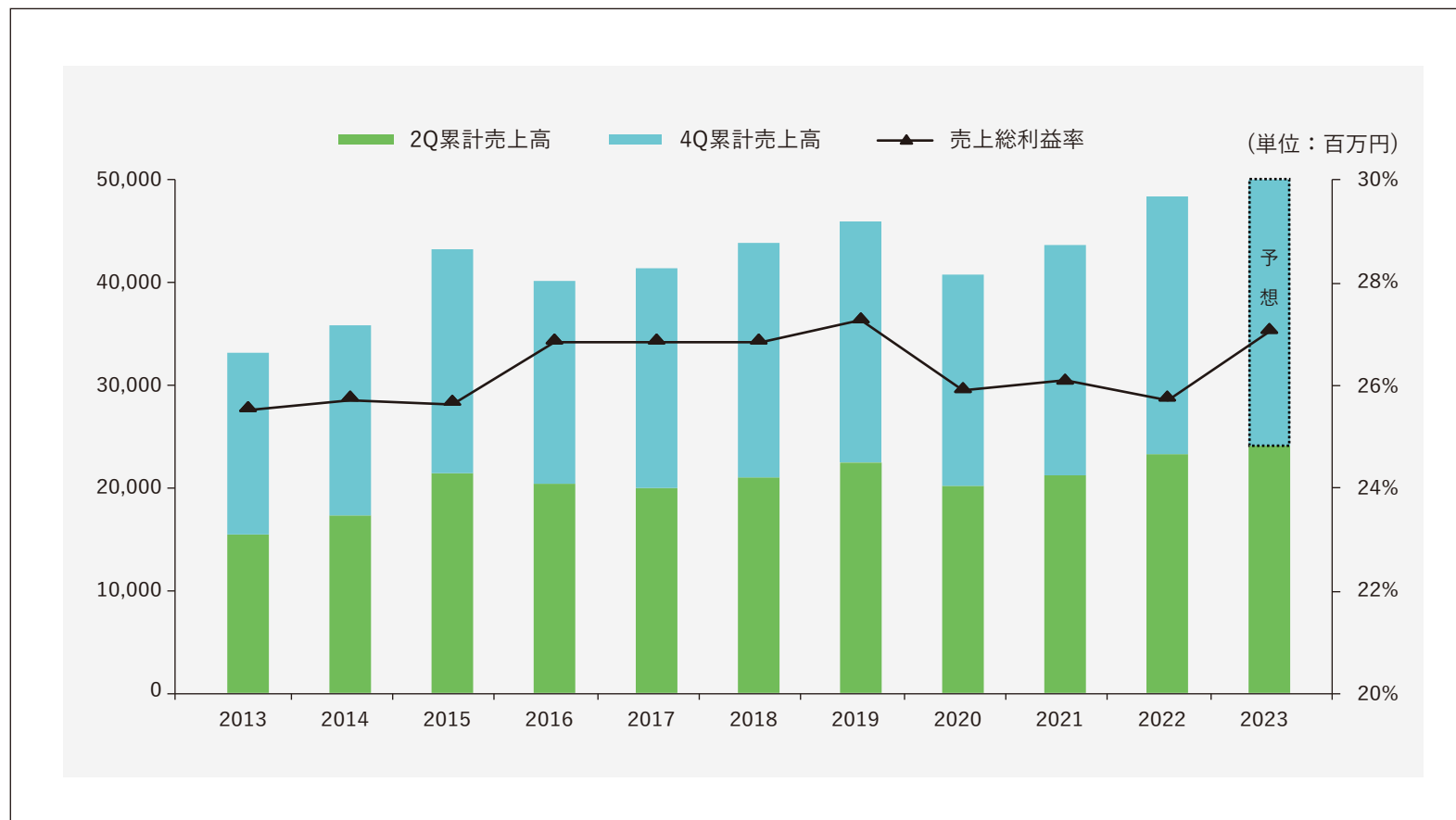


(単位: 百万円)

|        | 前 期    | 当 期    | 増 減  | 前期比    |
|--------|--------|--------|------|--------|
| 売上高    | 23,207 | 24,148 | +941 | +4.1%  |
| 売上総利益  | 6,113  | 6,541  | +428 | +7.0%  |
| 売上総利益率 | 26.3%  | 27.1%  |      |        |
| 経 費    | 4,995  | 5,236  | +241 | +4.8%  |
| 営業利益   | 1,117  | 1,305  | +188 | +16.8% |
| 経常利益   | 1,219  | 1,459  | +240 | +19.6% |
| 当期純利益  | 879    | 1,308  | +429 | +48.7% |

## 2023年11月期2Q 売上高・売上総利益率の推移

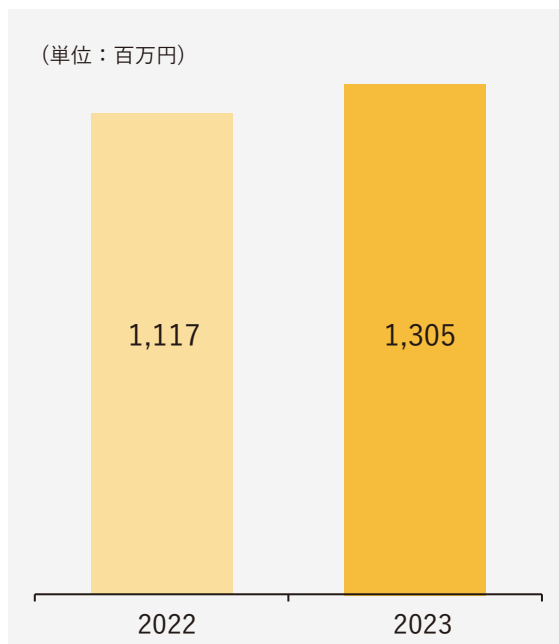
高付加価値商品の販売増加により、売上総利益率が改善。



## 2023年11月期2Q 営業利益

営業利益:1,305百万円 前年同期比: +188百万円(+16.8%)

売上総利益の増加により増加。



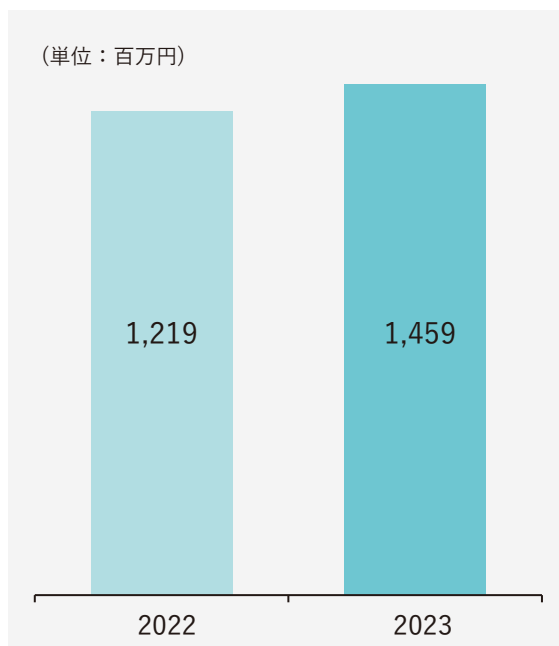
(単位：百万円)

|        | 前 期    | 当 期    | 増 減  | 前期比    |
|--------|--------|--------|------|--------|
| 売上高    | 23,207 | 24,148 | +941 | +4.1%  |
| 売上総利益  | 6,113  | 6,541  | +428 | +7.0%  |
| 売上総利益率 | 26.3%  | 27.1%  |      |        |
| 経 費    | 4,995  | 5,236  | +241 | +4.8%  |
| 経費率    | 21.5%  | 21.7%  |      |        |
| 営業利益   | 1,117  | 1,305  | +188 | +16.8% |
| 営業利益率  | 4.8%   | 5.4%   |      |        |
| 経常利益   | 1,219  | 1,459  | +240 | +19.6% |
| 当期純利益  | 879    | 1,308  | +429 | +48.7% |

## 2023年11月期2Q 経常利益

経常利益:1,459百万円 前年同期比: +240百万円(+19.6%)

営業利益の増加により増加。



(単位: 百万円)

|        | 前 期    | 当 期    | 増 減  | 前期比    |
|--------|--------|--------|------|--------|
| 売上高    | 23,207 | 24,148 | +941 | +4.1%  |
| 売上総利益  | 6,113  | 6,541  | +428 | +7.0%  |
| 経 費    | 4,995  | 5,236  | +241 | +4.8%  |
| 営業利益   | 1,117  | 1,305  | +188 | +16.8% |
| 営業利益率  | 4.8%   | 5.4%   |      |        |
| 経常利益   | 1,219  | 1,459  | +240 | +19.6% |
| 経常利益率  | 5.3%   | 6.0%   |      |        |
| 当期純利益  | 879    | 1,308  | +429 | +48.7% |
| 当期純利益率 | 3.8%   | 5.4%   |      |        |

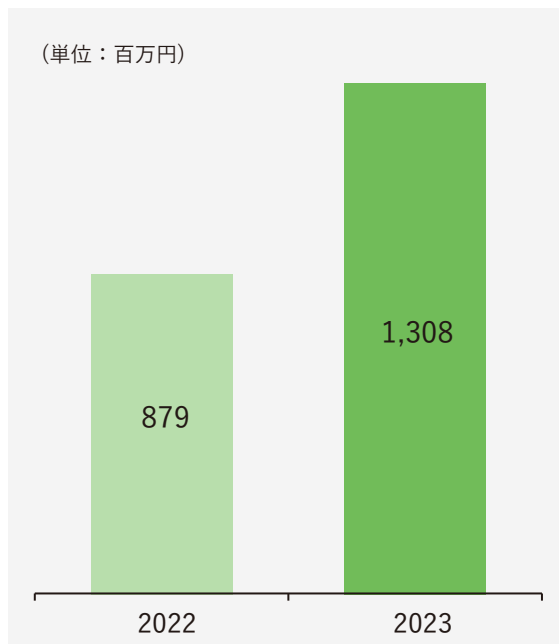


## 2023年11月期2Q 当期純利益

当期純利益:1,308百万円 前年同期比: +429百万円(+48.7%)

投資有価証券の売却など、特別利益の増加により増加。

(単位: 百万円)



(単位: 百万円)

|        | 前 期    | 当 期    | 増 減  | 前期比    |
|--------|--------|--------|------|--------|
| 売上高    | 23,207 | 24,148 | +941 | +4.1%  |
| 売上総利益  | 6,113  | 6,541  | +428 | +7.0%  |
| 経 費    | 4,995  | 5,236  | +241 | +4.8%  |
| 営業利益   | 1,117  | 1,305  | +188 | +16.8% |
| 経常利益   | 1,219  | 1,459  | +240 | +19.6% |
| 経常利益率  | 5.3%   | 6.0%   |      |        |
| 当期純利益  | 879    | 1,308  | +429 | +48.7% |
| 当期純利益率 | 3.8%   | 5.4%   |      |        |

## 2023年11月期2Q 連結貸借対照表

(単位：百万円)

|             | 2022 4Q | 2023 2Q             |
|-------------|---------|---------------------|
| <b>資産の部</b> |         |                     |
| 流動資産        | 30,481  | 29,157<br>(- 1,324) |
| 固定資産        | 19,790  | 19,388<br>(- 402)   |
| 資産合計        | 50,271  | 48,546<br>(- 1,725) |

|                 | 2022 4Q | 2023 2Q             |
|-----------------|---------|---------------------|
| <b>負債の部</b>     |         |                     |
| 流動負債            | 9,309   | 7,393<br>(- 1,916)  |
| 固定負債            | 4,278   | 4,145<br>(- 132)    |
| 負債合計            | 13,587  | 11,539<br>(- 2,048) |
| <b>純資産の部</b>    |         |                     |
| 株主資本            | 31,860  | 32,733<br>(+873)    |
| その他の<br>包括利益累計額 | 4,768   | 4,241<br>(- 527)    |
| 新株予約権           | 55      | 32<br>(- 23)        |
| 純資産合計           | 36,684  | 37,007<br>(+323)    |
| 負債純資産合計         | 50,271  | 48,546<br>(- 1,725) |

自己資本比率 76.2%(2022年4Q 72.9%)

## 2023年11月期2Q 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

|                      | 2022 2Q | 2023 2Q |
|----------------------|---------|---------|
| 現金及び現金同等物期首残高        | 11,020  | 10,396  |
| 営業活動によるキャッシュフロー      | 161     | 1,160   |
| 投資活動によるキャッシュフロー      | ▲ 204   | 112     |
| 財務活動によるキャッシュフロー      | ▲ 1,187 | ▲ 709   |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額     | 215     | ▲ 199   |
| 現金及び現金同等物の増減額        | ▲ 1,015 | 363     |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | -       | -       |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | -       | -       |
| 現金及び現金同等物期末残高        | 10,005  | 10,759  |

# 5

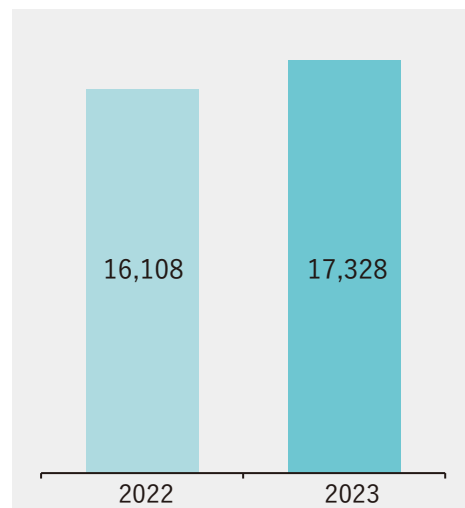
## 2023年11月期2Q 事業の概況

---

## 2023年11月期2Q 地域別売上高

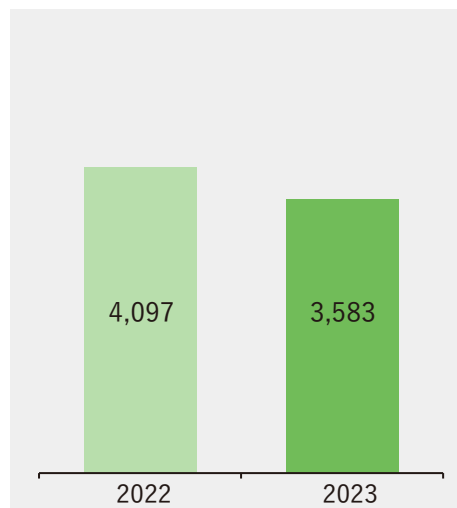
(単位：百万円)

日 本



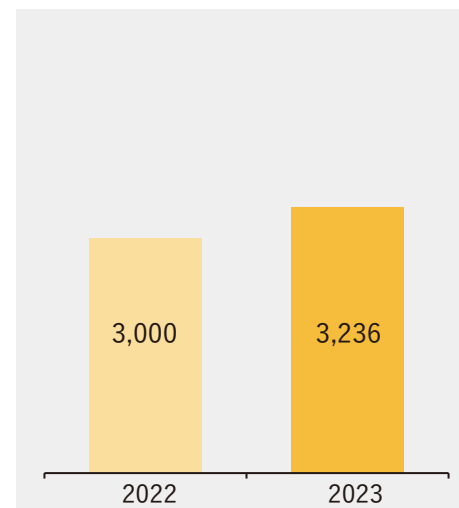
前年同期比 +1,220百万円  
(+7.6%) ↑

アジア



前年同期比 -514百万円  
(-12.5%) ↓

欧 米



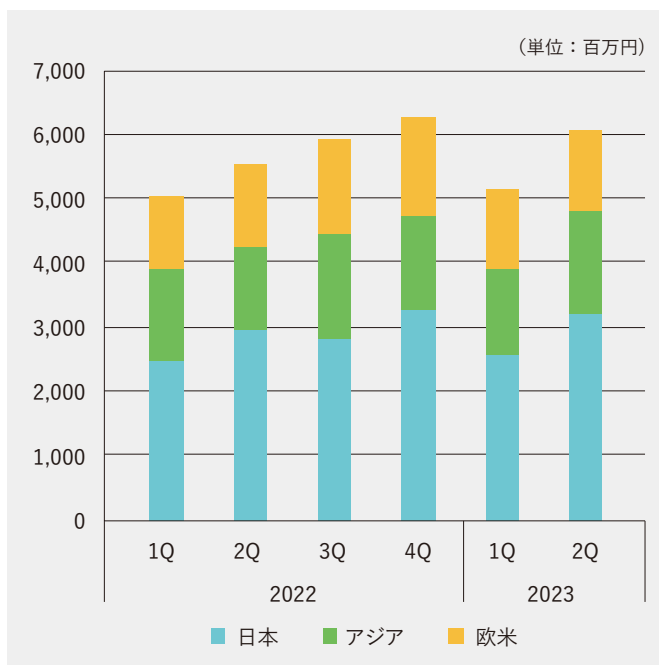
前年同期比 +236百万円  
(+7.9%) ↑

## 2023年11月期2Q アパレル関連事業売上高

売上高:11,231百万円 前年同期比: +663百万円(+6.3%)

スポーツシューズ向け付属品が好調。

特に欧米向け商品において、消費の減速による過剰在庫・需要停滞の傾向あり。



### 日本

- ・欧米向けメディカルウェア向け付属品の減少
- ・作業服、スポーツシューズ、バッグ向け付属品の増加

### アジア

- ・中国・香港でのベビーウェア向け付属品が増加
- ・ベトナムでのスポーツシューズ向け付属品、作業服関連商品の増加
- ・中国・香港での欧米向けカジュアルウェア・作業服関連付属品が減少

### 欧米

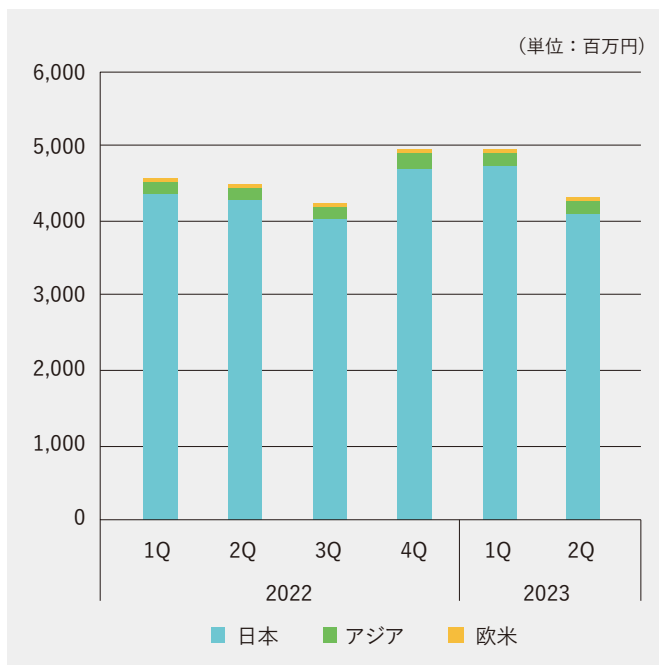
- ・カジュアルウェア向け付属品が減少
- ・レジャー関連商品向け付属品が増加

## 2023年11月期2Q プロダクト関連事業売上高

売上高:9,313百万円 前年同期比: +332百万円(+3.7%)

国内向けの需要は安定的に継続。

厨房機器レンタル・医療機器関連商品など、高付加価値商品も好調。



### 日本

- ・医療機器関連商品が増加
- ・均一価格小売店向け商品が増加
- ・スノーボード・アウトドア関連商品が増加
- ・厨房機器レンタル・販売・清掃事業が増加

### アジア

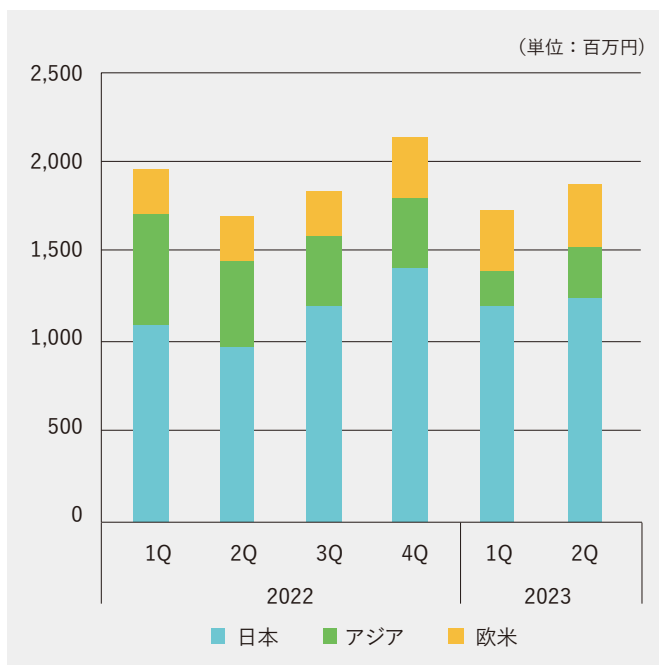
- ・昨年と同水準

## 2023年11月期2Q 輸送関連事業売上高

売上高:3,603百万円 前年同期比:-53百万円(-1.5%)

コロナ前の自動車生産台数には及ばないものの、半導体不足の影響は改善。

ただし中国では、不採算ビジネスの撤退により減少。



### 日本

- ・日系自動車メーカー向け自動車内装部品が増加

### アジア

- ・中国での日系自動車メーカー向け自動車内装部品が減少

### 欧米

- ・日系自動車メーカー向け自動車内装部品が増加



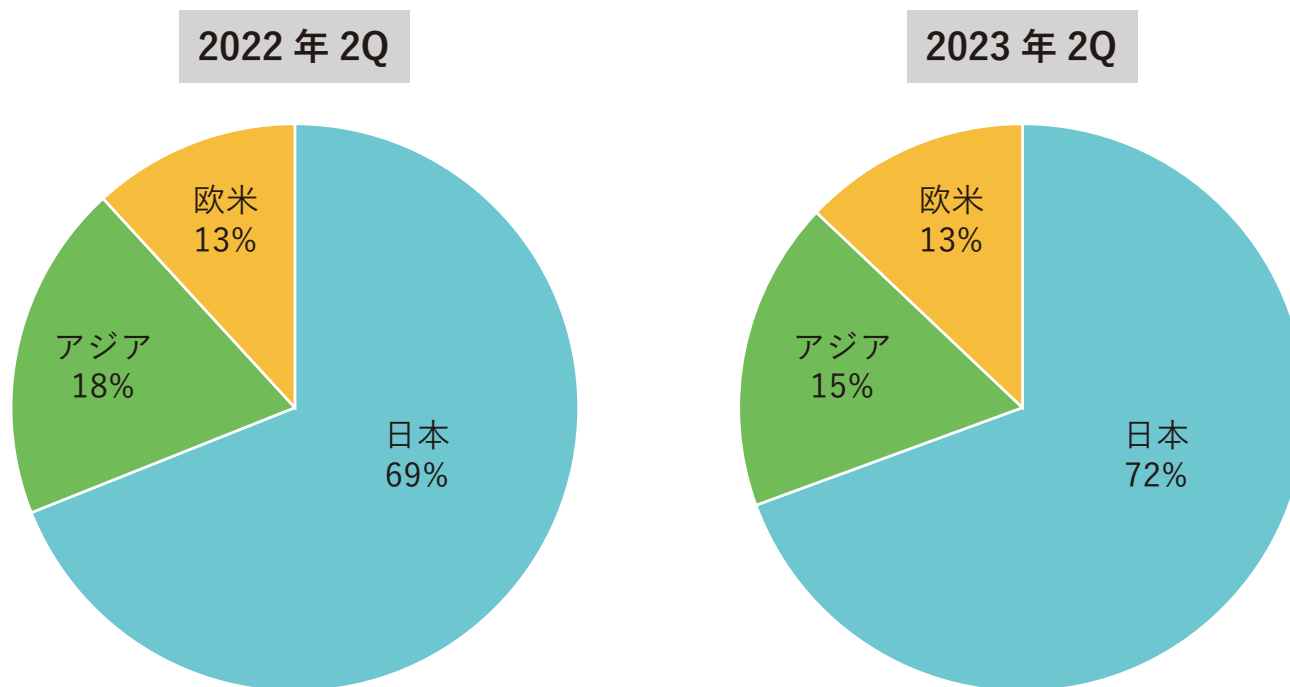
## 2023年11月期2Q 地域別売上高(四半期別)

(単位：百万円)

| 2023年度 実績 |        |        |        |        |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           | 1Q     | 2Q     | 上期合計   | 構成比    | 増減額    | 増減率    |
| 日本        | 8,502  | 8,826  | 17,328 | 71.8%  | +1,220 | +7.6%  |
| アジア       | 1,719  | 1,864  | 3,583  | 14.8%  | -514   | -12.5% |
| 欧米        | 1,582  | 1,654  | 3,236  | 13.4%  | +236   | +7.9%  |
| 合計        | 11,804 | 12,344 | 24,148 | 100.0% | +941   | +4.1%  |

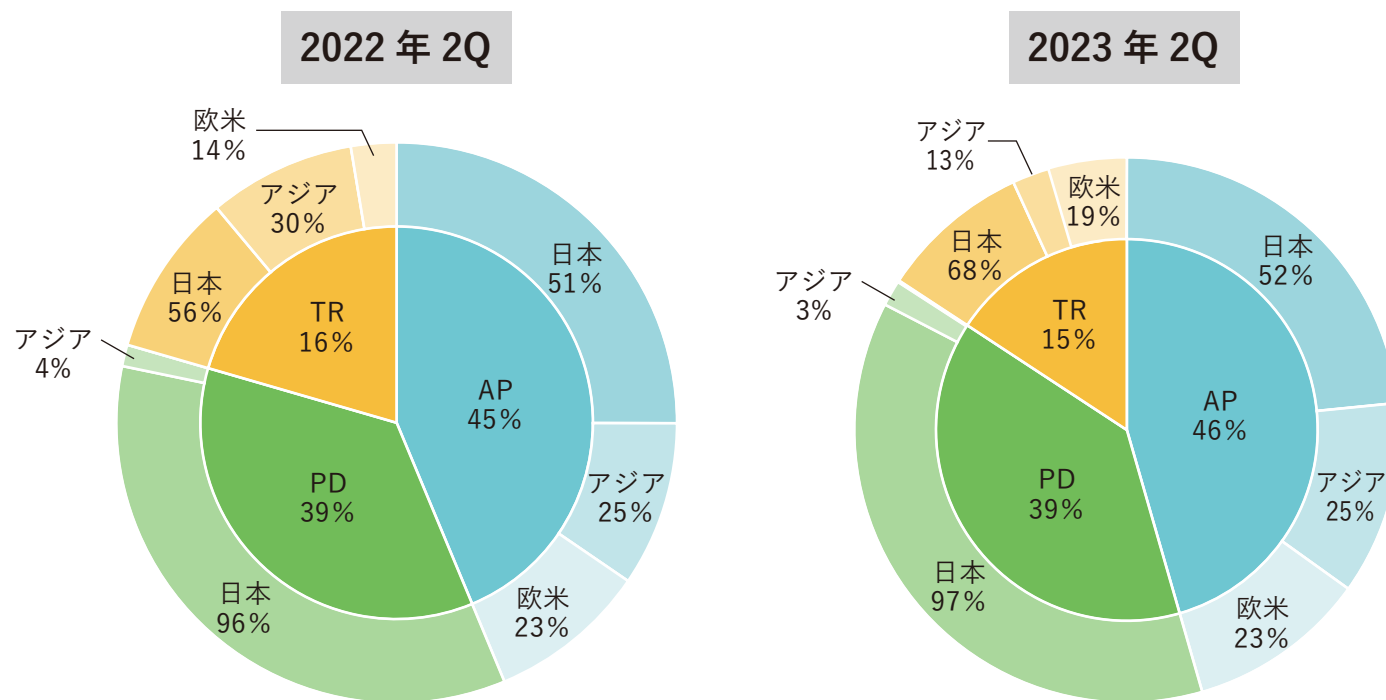
| 2022年度 実績 |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           | 1Q     | 2Q     | 上期合計   | 3Q     | 4Q     | 通期     | 構成比    | 増減額    | 増減率    |
| 日本        | 7,912  | 8,196  | 16,108 | 8,031  | 9,377  | 33,516 | 69.1%  | +3,287 | +10.9% |
| アジア       | 2,212  | 1,885  | 4,097  | 2,180  | 2,063  | 8,340  | 17.2%  | +286   | +3.6%  |
| 欧米        | 1,436  | 1,564  | 3,000  | 1,755  | 1,866  | 6,621  | 13.7%  | +1,268 | +23.7% |
| 合計        | 11,561 | 11,646 | 23,207 | 11,965 | 13,306 | 48,478 | 100.0% | +4,842 | +11.1% |

## 2023年11月期2Q 地域別 売上構成



欧米向けのアパレル関連事業・輸送関連事業が中心のアジアが減少。  
日本市場が回復。

## 2023年11月期2Q 地域別×事業別 売上構成



輸送関連事業において、  
アジアの不採算事業撤退により減少。

## 2023年11月期2Q 計画進捗について

国内需要の回復により、順調な進捗。下期は、欧米を中心とした需要の停滞が懸念材料。

|        | 2023年11月期 2Q実績 | 2023年11月期 業績予想 | 進捗度   |
|--------|----------------|----------------|-------|
| 売上高    | 24,148         | 50,000         | 48.3% |
| 営業利益   | 1,305          | 2,300          | 56.7% |
| 営業利益率  | 5.4%           | 4.6%           |       |
| 経常利益   | 1,459          | 2,450          | 59.6% |
| 経常利益率  | 6.0%           | 4.9%           |       |
| 当期純利益  | 1,308          | 1,800          | 72.7% |
| 当期純利益率 | 5.4%           | 3.6%           |       |

# 6

## 事業トピックス

---

## 環境への取り組み 「Rideeco(リデコ)」

廃漁網を活用した生地・資材を使った商品の開発・販売に継続して注力。  
2023年5月には、大阪市港区の海遊館で、海水を抜いた展示空間を舞台に、  
海洋プラスチック等を再利用して作られたファッションアイテムで彩る特別企画  
「サンゴショー ウィンドウ」に採用。



## グループ会社紹介 モリトダナン（アパレル・プロダクト・輸送関連事業）

モリトグループにおける製造機能として、2010年にベトナムダナンに設立。

ベトナムをはじめ、東南アジアに工場を構え、現地調達を求める各種メーカーに対応。

近年は新型コロナウイルス等の影響から、現地調達のニーズが高まり、売上・製造規模も拡大中。





## グループ会社紹介 モリトダナン（アパレル・プロダクト・輸送関連事業）

縫製を中心とした製造設備を完備し、スポーツシューズ、医療用ユニフォーム、食品・製薬・精密機械工場等で使用される衛生帽子などの売上が拡大。

製造規模拡大のためにも設備投資を実施。

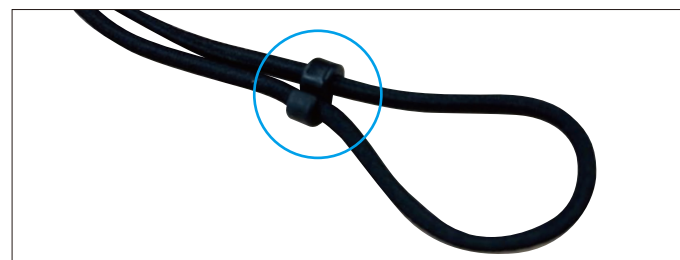




## 機能性に優れたアウトドア関連向け資材好調（アパレル関連事業）

機能性に優れた資材にこだわる、アウトドアブランド向けの資材の売上が好調。

2023年上半期は、軽量で耐久性に優れた資材がグローバル展開をするアウトドアブランドにて多数採用。



## 会社認知度向上に向けた施策



京阪神FMラジオ3局が共同制作・  
放送する「Saturday Junction」で、  
モリト提供のコーナー・ラジオCM  
を放送。



個人投資家へ向けたIRセミナー  
など情報発信を継続。

## (参考)メディア掲載情報

- 「The Worldfolio」と「Newsweek」(国際版)に  
社長インタビュー掲載。

<https://www.theworldfolio.com/interviews/the-small-products-that-make-world-of-difference/5649/>



- Yahoo!ニュース、NHK NEWS WEBに海遊館とのイベント記事掲載。

<https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20230512/2000073625.html>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/dcaa32bb2cccdcef50b6bc8746c37edd7bdbf36d>

- 大阪府「令和4年度環境・エネルギー技術シーズ調査・普及啓発業務」調査結果についての事業者向け冊子にモリトグループの取り組みが掲載。

[https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/44690/00445984/handbook\\_gaiyo.pdf](https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/44690/00445984/handbook_gaiyo.pdf)

# 7

## 株主還元策

---

# 利益配分に関する基本方針

2023年11月期より、基本方針を変更。

株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。（2023年11月期～）

安定的かつ  
継続配当の実現

業績状況等により  
親会社株主に帰属する  
当期純利益に対する

配当性向は  
50%以上を  
基準※

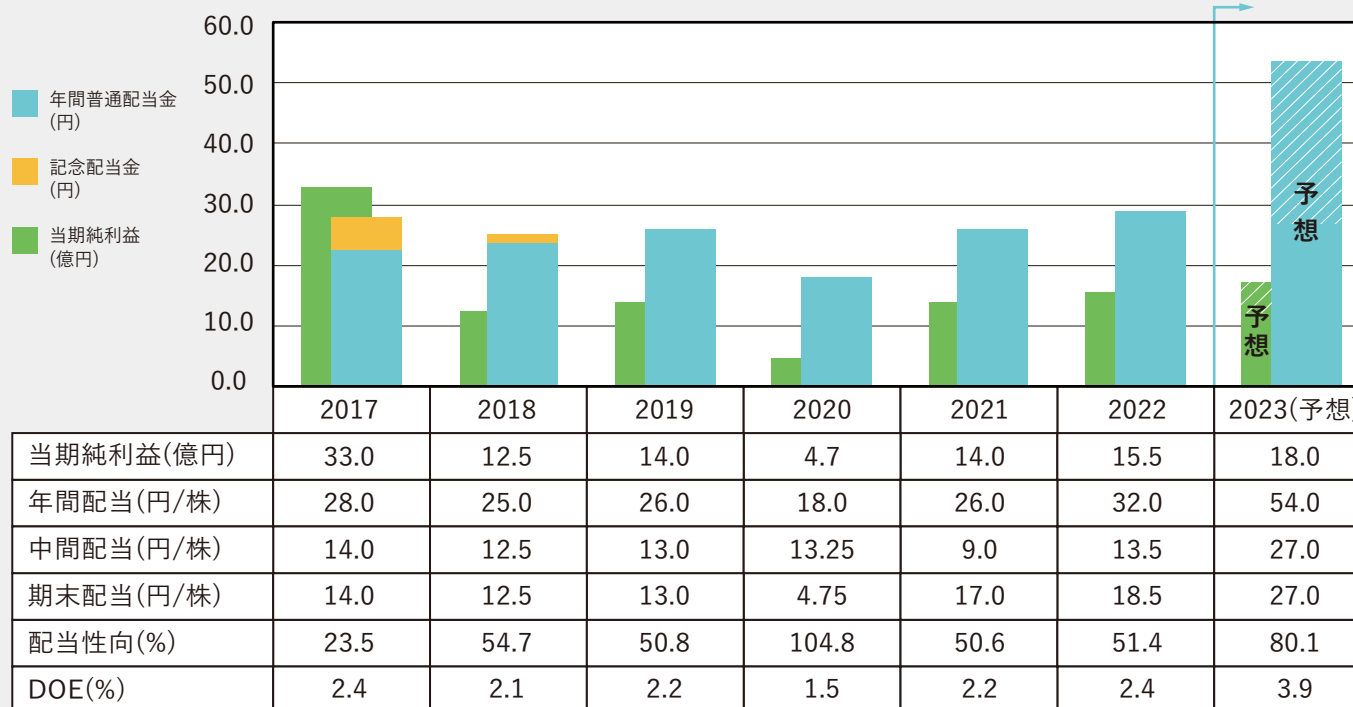
連結自己資本配当率

DOE 目標  
4.0%

※ 特別な損益等の特殊要因により税引き後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定いたします。

## 配当金・配当性向・DOEの推移

2023年度より、利益配分に関する基本方針を変更



# 本資料のお取扱いについて

---

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、  
当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、  
完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき  
当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。  
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されて  
いる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください

本資料に関するお問い合わせ先

モリト株式会社 社長室

〒541-0054 大阪市中央区南本町 4-2-4

E-mail : [ir@morito.co.jp](mailto:ir@morito.co.jp)

# MORITO

あたりまえに、新しさ。